

緑化だより

No.52 平成22年7月



モリアオガエル 平成22年6月12日撮影 (緑化センター内)

- きのこユーモラスネーミング
- 庭木の手入れ
- 花だより

- 研修会・イベント報告
- 研修会・イベント紹介
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



きのこユーモラスネーミング

外国編(4) 『Destroying Angel 殺しの天使』

きのこの名前は、世界共通の学名と各国で異なった名前(日本では和名と言われる)と2通りあります。その他日本では方言名もありますが、4月から外国(欧米)で使われているユーモラスな英名をとりあげています。

“殺しの天使”と呼ばれているのは日本ではドクツルタケ、シロタマゴテングタケなど真っ白なテングタケの仲間を指しています。白くて美しいので“天使”を思い浮かべる発想が日本と異なるようです。日本では“鶴”のイメージになっています。

誤って食べると死に至るので“殺しの”という名前がつけられていますが、“天使”と結び付けることにより不気味さを増しています。

これらのキノコは柄が縦に裂けます。“柄が縦に裂けるキノコは食べられる”という言い伝えが迷信と言われる所以です。美しいキノコを観賞できることは喜びであるのですが、なぜかキノコはさらに食べようとする気持ちを起こさせます。他に美味なキノコがあるので仕方ないですね。でも迷信にはくれぐれも気をつけましょう。



ドクツルタケ

庭木の手入れ

『7月の手入れ』

7月の庭木の手入れで気をつけたいのは、水やりと病虫害駆除です。よく緑化相談で「何日おきに水やりをすればよいですか」と、質問されますが、「乾いたらたっぷり、水やりをして下さい」と、答えます。水やりは、根元にたっぷりやるようにしましょう。気候や土質、植栽場所などによって水やりの量は異なります。また、樹種によっても乾き気味を好むものと湿り気味を好むものがあり、加減が違います。

一般的に水やりは、早朝を第一とし、夕方を第二とします。真夏の昼間の水やりは、極力避けましょう。また、庭木と植木鉢では、水やりも違いますのでご注意ください。夏の暑い日には、夕方も行い、植木鉢内の温度を下げるようにたっぷり水やりを行いましょう。

松は葉から水をかけることでハダニの害を軽減できます。ただ、葉水が良いとしてむやみにかけると、ものによっては病気の伝播をお手伝いすることもありますので注意しましょう。

水やりの基本は、水を土に与え、根から吸収させることにあります。土壌が固化していたら、表面をほぐして軟らかくしましょう。土壌の固化防止には、敷き藁なども効果があります。

病虫害駆除は、よく観察して行いましょう。アリの出入りがあれば、アブラムシを疑って下さい。カイガラムシも今なら飛び回り、着床の場を求めています。殺虫剤で駆除が可能です。幹や幹の足元で木屑の有無を調べ、木屑があればテッポウムシ退治を行います。

木からヤニが出ているときは、コスカシバの害が考えられます。その他、ウドンコ病やスス病も目立ちます。殺菌剤や殺虫剤などで対処しましょう。

花だより

シマトネリコ モクセイ科トネリコ属

テレビを見ていると、昔流行した歌謡曲やドラマ、映画などを目にすることがあります。その時流行った物を見ては、昔を懐かしく思い返すのですが、庭木も少なからず時代を反映していると言えます。

庭を造るときには、当然のようにマツが主役だった時代があったり、庭木にはモミジ・モッコク・ヒョン(イスノキ)・カナメなどと言われたり、生垣にヒイラギモクセイやベニカナメモチ、レッドロビンが多く植えられたりしました。ハナミズキ・ヤマボウシ・エゴノキなどの花が可憐で落葉する様々な品種も植えられてきましたが、ここ数年は、シマトネリコが多く植えられているように感じます。シンボルツリーとして人気があり、インテリアグリーンとしても部屋に置かれます。観葉植物として、屋内でコンテナ栽培されていたりもします。

シマトネリコは、別名台湾シオジとも言い、南西諸島や中国、台湾、インドなど亜熱帯～熱帯の山地に生育する常緑高木です。西日本であれば露地で越冬しますが、寒さには弱いです。また、寒い地域では落葉するので半常緑に分類されています。シマとは、南方系のとか南国諸島のという意味のようですが、沖縄植物野外図鑑によると「より小さい」という意味があるようです。また、手入れがあまり要らなくて、虫が付きにくく環境適応力が高いので利用しやすい上、風にそよぐ枝葉が涼しげで爽やかというイメージもあるようです。

花は、5～6月に枝先に小さな白い花を沢山つけるのでよく目立ちますが、緑化センターでは、7月の中旬頃開花します。



シマトネリコの花と葉



シマトネリコの花

研修会・イベント報告

〈キャリアスタートウィーク〉

5月25日～5月27日、広島市立高陽中学校キャリアスタートウィーク(職場体験)が緑化センターでも行われ、4人の生徒さんが参加しました。センターの概略説明や種植え、山の施業体験や丸太切り、野鳥観察や記念植樹などを行い3日間の日程を終えました。



キャリアスタートウィーク：種植え

- | | | | |
|-----------------------|----|-------|------------|
| 6月11日(金)「6月の自然探勝」 | 講師 | 石橋 昇 | 広島大学名誉教授 |
| 6月12日(土)「庭木の手入れについて」 | 講師 | 工藤 徹 | 技術士 |
| 6月20日(日)「初夏のきのこ観察会」 | 講師 | 川上 嘉章 | きのこアドバイザー |
| 6月23日(水)「初夏の植物を観察しよう」 | 講師 | 駄賀 恒男 | 森林インストラクター |
| 6月27日(日)「初夏の写真教室」 | 講師 | 宗岡 泰昭 | 二科会会友 |

研修会・イベント紹介

7月9日(金) 「7月の自然探勝」 管理事務所前集合10:00~12:00
7月の樹木や花を観察しよう
講師: 広島大学名誉教授 石橋 昇 先生



「7月の自然探勝」状況

7月19日(月) 「夏のきのこ教室」 第3駐車場集合10:00~14:00
きのこ狩をしてきのこの名前を知ろう
講師: きのこアドバイザー 川上 嘉章 先生



「夏のきのこ教室研修」状況

7月25日(日) 「夏休み昆虫教室」 学習室集合10:00~12:00
様々な昆虫採取法と標本の作り方を教わろう
講師: 技術士 亀山 剛 先生



「昆虫教室研修」

※ 「夏休み昆虫教室」は、要予約で先着40名とさせていただきます。

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 時開延長のお知らせ

7月、8月は、土曜、日曜、祭日に限り閉園時間を1時間延長して5時まで開園します。休園日は、いつも通り月曜日です。のんびりと夏のひと時をお楽しみ下さい。

◎ 展示会のお知らせ 展示場所: レストハウス

○ 紙粘土細工展

展示期間: 7月10日(土)~8月18日(木)

紙の粘土で作られた作品の数々をお楽しみ下さい。

○ 春の緑化コンクール写真作品展

展示期間: 7月2日(金)~7月29日(木)

緑化センター内で撮影し、春の緑化写真コンクールで入選した写真を展示します。

○ 世界のチョウ展

展示期間: 7月31日(土)~8月22日(日)

世界中の様々なシロチョウの標本を展示します。

◎ 開園30周年

広島県緑化センターは、今年9月に開園30周年を迎えます。記念行事を9月5日に計画していますので、皆様の参加をお待ちします。詳細は、8月号でお知らせします。



昨年の「紙粘土細工」の写真



昨年の「世界のチョウ展」の1標本写真